

09年10月12日ヨーク郡警察ニュース

JSS 和訳

注意報：10月15日からヨーク郡警察は、新法規周知のための作戦を開始する。

ドライバーは運転に集中しよう

ヨーク郡警察は、10月26日の新条例施行に先立ち、ドライバーが、ハンドルから手を離さず、運転に責任を持ち、集中することの必要性認識作戦をスタートさせる。

郡警察係官は、2007年に推進した「運転に集中しよう運動」を踏まえ、オンタリオ州では10月26日以降、ドライバーの注意をそらすような手持ちの電子機器(携帯電話に限らない)を運転中に使用することが非合法となることをしっかりと指導する。制服パトロール係官および交通係官はドライバーの指導に注力するが、2010年2月1日までの間は、(訳者注;注意が散漫なドライバーを)違反者とするかどうかの判断は彼らに任されている。この3ヶ月間の教育期間、ヨーク郡警察の係官は、運転に集中しないないしは正常ではない運転をしているドライバーを監視しており、発見した場合、注意が散漫な運転の危険についての指導を実施する。集中を欠いた運転は大変危険であり、ドライバーないしは同乗者、さらには道路を共有しているほかのドライバーに、時に死をもたらす。

郡警察は又、運転中の人から電話やテキスト通信ないしはメールを受けた人は、発信したドライバーに、移動中や危険な状態での通話は行わず、そうすることが安全であるとき、すなわち車が道路から出る、ないしは路上で合法

的に駐車して発信するよう要請することで安全に対する責任を果たしてほしいと考えている。

2007年にヨーク郡警察は、ドライバーの注意が散漫であったことが判明し、それが原因であった986件の事故を調査した。うち3件は死亡事故であり、120件ではドライバーまたは同乗者の傷害を伴った。

以下は運転中注意を散漫にしないための安全運転に関する教訓だ。

- ハンドルから手を離さず、運転中は携帯電話ないしはそのほかの電子機器の使用を避けよう。
- 電話をかけたり、受けたりないしはテキスト通話またはメール通話をする場合は、道路わきに出て駐車しよう。
- 運転には注意の集中が必要だ。運転席は多くの仕事をこなすところではない。

(以下省略)

JSS 説明

従来から言われてきた運転中の電話使用が、手持ち電子機器の使用を禁止条例という形で10月26日から施行される。ただし、違反者が実際に罪に問われるのは2月1日以降ということのようだ。

ヨーク郡に限らず各警察は、具体的に手持ち電子機器の使用が禁じられるかどうかは条例施行以前でも、運転中の電子機器の使用は安全ではない・・・という理由で違反扱いをすることは出来ると言明していたので、必ずしも状況が変わったということではないと思うが、具体的な条例が施行される以上、厳しく取締りが行われると見るべきだ。

この施行は、日常自動車を利用するものと

して喜ばしいものである。運転していて気づくのは、そのために周囲の車の流れに乗らない速度で運転しているのはまだしも、携帯電話を片手で使用し、もう一方の手でハンドルを握って、猛スピードで追い越してゆく車が決して少なくないことだ。勿論流れに乗らず、のろのろ運転をしているのも安全とは言えず、又はた迷惑であるが、猛スピードに至っては危険極まりなく、許すことは出来ない。

さらに言うなら、手持ちかどうかに限らず、電話をすることが、注意の散漫を引き起こすことは避け得ないと思われるが、この条例では電話の使用自体は対象にされていない。しかし前記した条例立法以前の警察の姿勢から、警察は運転中の電話の使用自体について危険性を認めているやに想像される。その見方が記事中に掲出されている「安全運転の教訓」に現れていると考えるのは訳者のみだろうか。

なお警察は、電話の使用者のみならず、受信者にも、運転中と思しい電話については発信者にそうしないように注意することを促している点も、きわめて妥当だと考える。